

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

元離宮二条城の運営について

二条城は、1603年徳川家康により築られました。その後、国から京都市に下賜され、元離宮二条城として1940年（昭和15年）から一般公開しており、令和7年度は約207万人の皆様に御来城いただきました。

合わせて、国宝の二之丸御殿をはじめとした文化財を保存し、次世代への継承に取り組んでいます。

施設の主な取組（概要）

【世界遺産・二条城本格修理事業】

世界共通の財産である世界遺産・二条城を次代へ保存・継承していくために、平成23年度から国宝・重要文化財建造物の本格修理事業を実施しています。

直近の取組では、平成29年度から始まった本丸御殿の保存修理工事が令和5年度末に完了し、令和6年9月から18年ぶりに一般公開を開始しました。



修理前（本丸御殿玄関）
つかえ棒で支える



修理後（本丸御殿玄関）
耐震補強を施す



修理後（本丸御殿全景）

今後、令和8年度から34年かけて、二之丸御殿の保存修理計画を進めていきます。

施設運営に関する支出・収入（概数）

入城者1人あたりに換算すると、入城料収入等による年間の収入は1,154円（総額23.9億円）であり、運営費の656円（総額13.6億円）を賄っています。

＜支出：利用者1人あたりの運営経費656円（総額13.6億円）＞

施設運営費 322円	施設営繕費 202円	人件費 132円
---------------	---------------	-------------

＜収入：利用者1人あたりの収入1,154円（総額23.9億円）＞

入城料収入等 1,154円

支出を上回る収入については、本格修理事業をはじめとする文化財の保存等に必要な整備等に活用します。